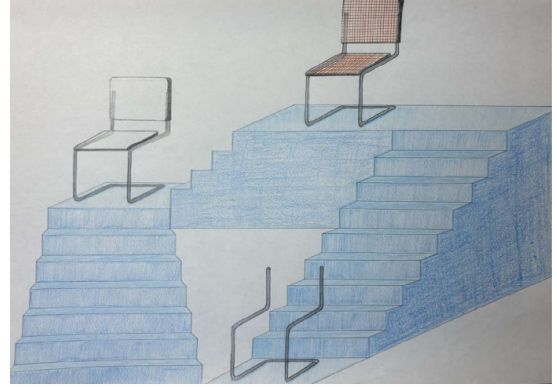


第9回わたしoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



■審査員コメント

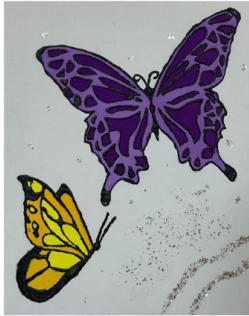
一目で狙いがある程度伝わり、尚且つ素材からくる爽やかでシャープなイメージが印象的な作品です。さらに、コンセプトを読むと、すべての事に意味付けがあり、多面的な視点から構築を捉えている事も感心できます。その細かい狙いが言葉で説明せずにも多くの人に感じてもらえる工夫がより増えれば、より説得力を持ち、強い共感力を有するエネルギー溢れる作品になりそうです。次回作にも期待しています。



■審査員コメント

「構築」というテーマに対して、チェスカチェアを着眼点に選んだのはとても興味深いです。四脚という固定概念を超えた構造を「構築」と結びつけて考えた点に深い理解を感じます。また、チェスカチェアの「つながる構造」を階段の形に展開し、段階的な成長や積み重ねの象徴として表現している発想も非常に面白いと思います。ただ、説明文を読んで初めてその意図が明確に伝わる部分もあり、絵そのものからもう少し構造のつながりや意味が感じ取れると、より説得力のある作品になったと思います。デッサンや構成の工夫で、コンセプトを視覚的に伝える力をさらに磨いていけると良いですね。

蝶々のボンドアート



ボンドを使って、羽の繊細さや色の美しさ、立体感を表現しました。また、蝶が空を舞う姿をイメージし、見る角度で光の反射が変わるようになっています。

蝶の色を補色にすることで、お互いを引き立てあうインパクトのある作品にしました。



■審査員コメント

綺麗な発色を目指そうとされていることが分かります。ボンドを使い様々な表現ができますね。後方に点が見えますが、これは鱗粉の表現でしょうか。「構築」というテーマとの関連がもう少し環ることができるようにできると良いかもしれません。



■審査員コメント

「構築」というテーマを、アイデアや人との関わり、学びといった目に見えない要素を「歯車」として描き出すことで、非常に明確かつ魅力的に表現しています。それぞれの歯車がつなぐ意味（電球、ふきだし、人のアイコン、本など）が示されており、単なる抽象的な絵ではなく、思考のプロセスや社会的な協力体制を視覚化できている点も評価したいです。色使いの工夫により、全体にぎやかで前向きなエネルギーがあふれており、作品から「考える力や人との協力が、何かを『構築』するために大切だ」という力強いメッセージが伝わってきます。それぞれの「パーツ」が連携して「大きな力」を生み出すというコンセプトは、本学のリーダーシップ教育に通じるところがあり、現代社会における協調性の重要性を訴えかけ、見る者にポジティブな気づきを与える秀逸な解釈です。



■審査員コメント

「構築」というテーマを、自分の人生をつくっていく姿と重ねて建設現場として表現した点がとても印象的です。建物が立ち上がっていく過程が段階的に描かれており、成長や積み重ねのイメージがしっかりと伝わってきます。構成のバランスも良く、全体のとまりが感じられます。また、あえて紺地に白い線で描くという選択も非常に効果的で、建築的な雰囲気と作品全体の力強さを際立たせています。シンプルでありながら、コンセプトと構図がうまく調和した、カッコいい作品に仕上がっています。



■審査員コメント

「食によって自分が構築されている」という発想が個性的で面白いです。色鉛筆の柔らかなタッチと豊かな色彩が、食の記憶の温かさをよく表しています。幼少期から現在までの食べ物を左右に配置して時間の流れを示す構成もわかりやすいです。中央の人物をモノクロで描くことで、食べ物の色彩が一層引き立ちます。背景にわずかなクリームイエローを入れると奥行きが出るでしょう。

第9回わたしtoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



■審査員コメント

本作品は「構築」というテーマを人間関係に結び付けて表現している点が特徴的である。自分の心の中の要素や同級生との関わりを通して生まれる感情の揺らぎや読み合いを、構築のプロセスとして表現していることが興味深い。特に、内面的な感情が揃った瞬間の期待感や高まりが表現されており、抽象的なテーマを具体的に捉え直そうとする姿勢が感じられる。人間関係を建築的思考に置き換えることで、構築の概念を身近なものに引き寄せている点が評価できる。



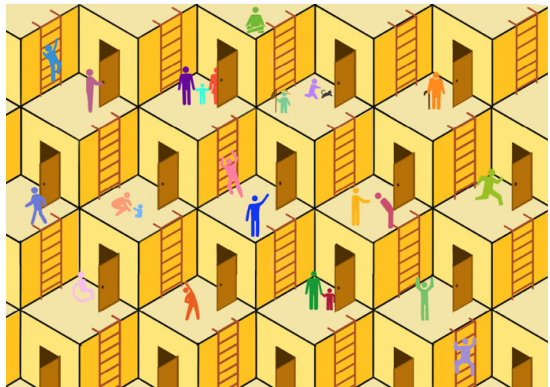
■審査員コメント

自分自身が感情の履歴によって構築されていると解釈しそれをストレートに表現した作品と理解しました。複雑な感情を主に線のうねりや色によって表現しているのですが、各要素（各時期の感情）が一見無関係に配置されているように見えます。しかし、それが「画」ではなく立体のリボンによってつながっているという手法に感心しました。綺麗にまとめるのではなく、複雑でときに現れる人間の影の部分も隠さずに表現した面白い作品だと思います。



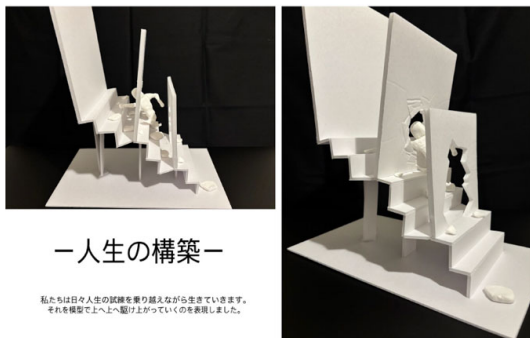
■審査員コメント

ご自身の活動の軌跡とこれからの未来について、蜘蛛が作る巣の構造と重ね合わせた作品で、決して一本道ではなくさまざまなものが絡み合って構築されていく様子が興味深化かったです。立体作品を作った上で映像で見せるという2段階の表現も意欲的で、また見る角度によって変化があるのが楽しいです。作品として見せる時には背景に映る景色にも気を配って、どこに置くとより作品の魅力が最大化するか？意図に合っているか？など検討するとさらに意図が相手に伝わるようになるかと思います。



■審査員コメント

作品全体から、「同じ形の中に潜む多様性」というテーマがしっかりと伝わってきます。外側が同一である立方体の家々が、内側の人々の違いによって豊かな世界をつくり出しているという発想はとても興味深いです。はごによってすべての家がつながっている構成は、人と人との関わりや交流を象徴的に表現しており、見る者に「関係性の構築」というテーマを直感的に感じさせます。また、カラフルに描かれた人々の姿が、画面に生命力と温かみを与えています。今後は、同じ形である立方体がどのように「個性」や「内面の違い」を内包しているのか、さらに視覚的な工夫で表現を深めても面白いと思います。



■審査員コメント

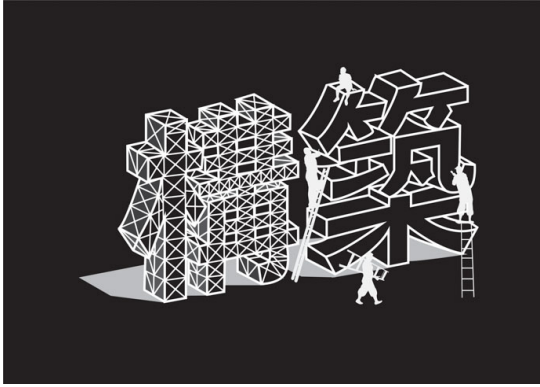
階段と壁を用いた立体構成で人生の試練と成長を表現しているのが良いですね。壁を突き破る人物の造形に強い意志が感じられ、見る人に物語を想像させます。白一色の素材が陰影を際立たせ、造形の力強さを引き出しています。階段の段差や壁の厚みにもう少し変化をつけると、上昇のリズムや時間の経過がさらに感じられるでしょう。



■審査員コメント

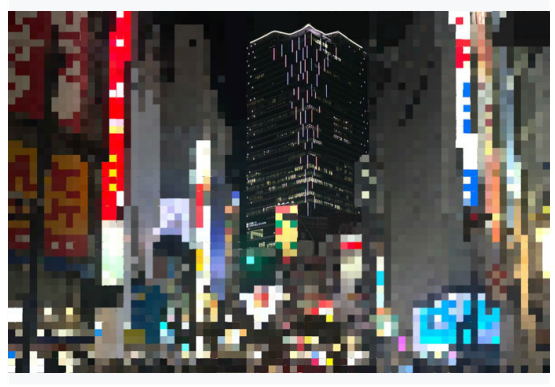
脳は生命体のあらゆる活動の中核で、肉体や精神の制御、外部情報の知覚と内部での思考、外部への発信、他者とのコミュニケーションなど、数えきれない役割を果たす重要な器官です。その脳をモチーフに多様な活動をパズルに置き換えることで、その多様な活動を美しく表現しています。さらにその活動を支える血流と併せたデザインとすることで、人間だからこそできる高度な「構築」という活動に結びつけたかったのだと思います。一方で、「構築」のイメージは内部に留めるものではなく、外部化して共同でつくりだす価値のように思えます。

第9回わたしtoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



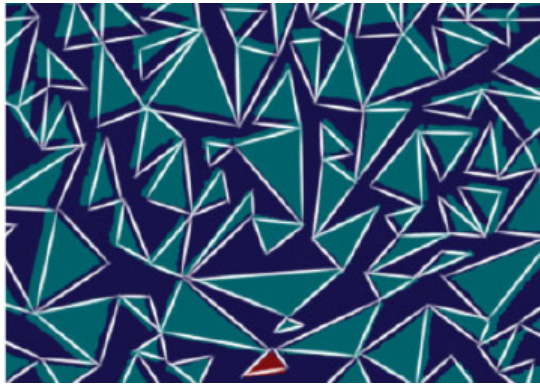
■審査員コメント

ゴシック体の「構築」という文字を昭和の職人さんが地道に作り上げていく。ものづくりが純粹であった時代をデジタルアートで表現したところに面白さを感じました。手段はアナログでもデジタルでも職人的な地道な表現への挑戦はこれからも変わらないものだと思います。



■審査員コメント

都会の夜の街並みの人間に近い部分の解像度を極端に下げると、情報が極端に減って猥雑的な美しさがなくなりますね。しかし、大きなグリッドの代表色でまとめてみて、一つとして同じ色がないというのは、夜の街並みであってもさまざまな色で彩られている＝構成されているという、面白い気付きです。



■審査員コメント

コンピュータでも面白く、素晴らしい視点だと思います。我々が取り組んでいる建築やデザインでも人はアイデアを実現したり構築したり取組みたい事である、社会のものとも言えます。素色で染めとめられた中に赤いキッカがある様子は「なんだろ?」と画面に惹きつける要素になるし、効果的だと思います。欲を言えば、画面を埋め尽くしている三角がより複雑に3次元の思い組んでいる様子が描かれると、社会の複雑さやメッセージも更に伝わりやすくなるように思います。



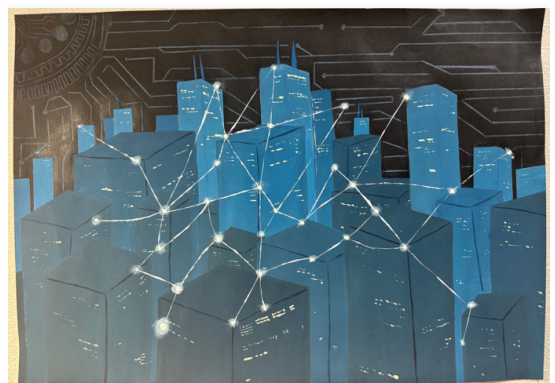
■審査員コメント

ご自身で撮影された空の写真を素材として、切り絵とコラージュの手法で新しい作品として再構成されているのが面白いですね。表現したい内容は作文から理解できました。たくさんの表情ある空の写真を単純な色面として捉えるだけでなく、写真自体に写る画像にも気を遣ってトリミングする際のサイズや形にこだわると良いと思います。



■審査員コメント

「構築」という文字の形が時代とともに変化していく様子を重ね合わせて表現しているのが印象的です。透過された色の重なりが残響のような響きを生み出しているように感じます。黒背景に淡い色彩を選んだことで静けさがあり、構築の歴史を感じさせます。重なり具合や濃淡を調整して層の深さを出すとさらに魅力的です。



■審査員コメント

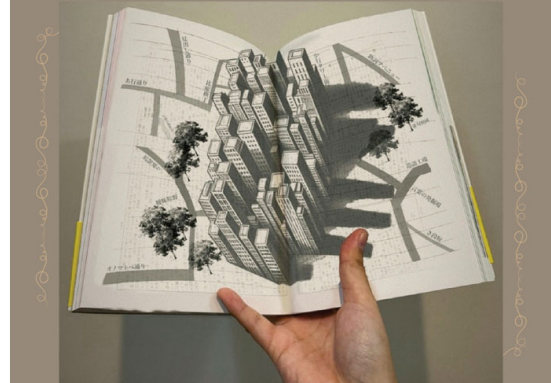
現代や近未来のデジタルネットワークにより構築された情報化社会が強く連想出来る作品です。暗めの背景が光を強く演出するとともに、不安な心情も連想させてくれています。更にデジタル情報化社会の扱いきれない膨大な情報量や虚偽情報への不安、デジタルの精度やネットワークの構築感などをより強く演出できればさらに強い説得力が生まれそうです。

第9回わたしtoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



■審査員コメント

球体を「今の自分」に見立て、その内側から手が伸びて光をつかみにいく構図が、とてもストレートにテーマを伝えていて印象的です。モノクロの球体に対して、光だけが柔らかな色を帯びていることで、外から受け取る刺激や出会いが自分を成長させていく様子が静かに浮かび上がっています。少しずつ光から抽出される「何か」が積み、世界が形になっていく表現から、「自分の未来を自分で構築していく」という前向きな意思が丁寧に伝わってくる作品だと感じました。



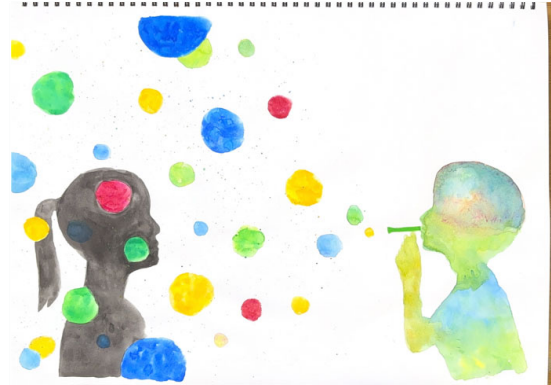
■審査員コメント

言葉が世界を作り上げている様子が不思議で楽しく表現されていて、パッと見て気になった作品でした。作文を見なくてもなんとなく意図を感じることができて、ヴィジュアルを使ってコミュニケーションをしようという意思を感じました。写真を撮絵する場所（背景）や光についても意識的になることでもっと良くなると思います。コピーをつけて本の広告にもなりそうです。



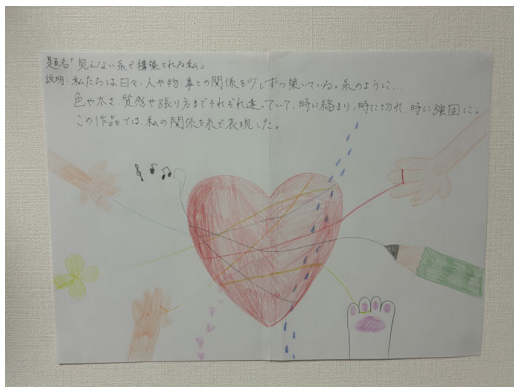
■審査員コメント

「図と地」という考え方がありますが、この作品をみてそれを思い出しました。物を作って表現しただけでなく、それに照明を当て壁に影を作り撮影するところまで合わせてこの作品なんだろうと感じました。また説明文を読むと更にこの作品に込められた想いを理解することが出来ました。異なる素材を使って球体を表現している点も面白いですが、ただ写真で撮影となるとその点が少し分かりづらいので明らかに違う素材で作った場合はどうなるのかも見てみたいと感じました。



■審査員コメント

人と人との「つながり」や「感情の交流」という繊細なテーマを、割れやすいシャボン玉というモチーフで表現した着眼点が素晴らしいです。右側の人物が吹くシャボン玉に感情や想いが込められ、左側の洗んでいる人物に影響を与えている様子は、思いやりや優しさの伝播を美しく示しています。一方で、暗いシャボン玉が描かれていることで、「すべての感情や想いが相手に届くとは限らない」という人と繋がる上での難しさや繊細さにも触れており、テーマに対する深い洞察を感じさせます。この表現は、一方的な感情の押し付けではない、相互理解の重要性を静かに示唆しており、見る者の心に語りかける詩的な作品です。ただプレゼンテーションとして、スケッチブックのリングが写っている部分が非常に気になります。作品として丁寧に扱うべきではないでしょうか。



■審査員コメント

「見えない糸で構築されている私」というタイトルがとても詩的で、テーマと作品の内容がしっかりと結びついています。人やモノ、コトとの関係を「糸」という繊細なモチーフで表現し、しかもその糸の張り方や見え方が見る人によって異なるという点に、深い思索が感じられます。ハートを中心に多様な手やモチーフを伸ばす構図も印象的で、関係性の広がりをうまく表しています。一方で、スケッチが少し急ぎ足に見える箇所があり、線の丁寧さがもう少しあれば、作品全体の完成度がさらに高まったと思います。構成力は優れているので、表現の精度を高める意識を次に活かしてください。描写の丁寧さは、テーマの説得力を支える重要な要素です。



■審査員コメント

人の成長過程を「心の中の構築」として捉え、それを階段を登るようなイメージで表現した点が印象的である。これまでの経験によって積み重ねられてきたものと、これから未来に向けて経験を重ねていく中で心の変化を同時に描き出している。成長への期待とともに不安も併せて示している点は、若い学生らしい感覚が表れており、単なる理想化に留まらないリアリティが感じられる。抽象的な心の動きを階段という比喻により可視化し、建築的発想へと展開したことが評価できる。

第9回わたしtoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



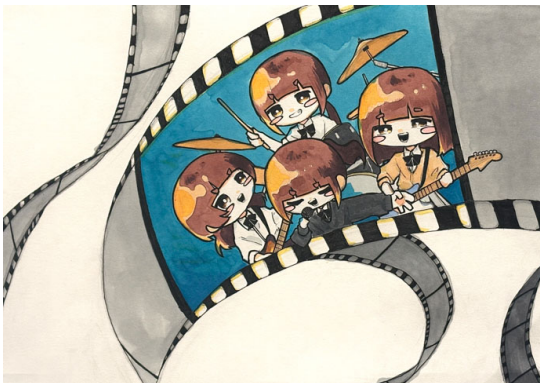
■審査員コメント

ボタンを押すという行為から得られる反応にはいろいろなものがあります。力学上の反発の違いもありますが、音が鳴ったり、ドアが開いたり、品物が出てきたり、多様な反応が期待できます。「ストレス発散の道具」とのことですが、「構築」の関係を見出すことが難しく、その説明が欲しいです。



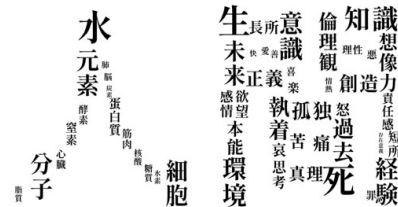
■審査員コメント

サンゴをモチーフとし、その形態を人間社会の複雑性とオーバーラップさせた造形作品です。手触り感のあるテクスチャと造形が調和しており、詩的なメッセージ性を持たせることに成功していると思います。説明を読むと、詩的で柔らかなメッセージと言うよりも、生きることの苦勞や世知辛さといった負の側面への注目を感じます。それを踏まえて改めて作品を観ると、柔らかくと言うよりも粘着性を持った何かが蠢いているように感じられてきます。対照的な解釈を持たせることに成功しており、大変ユニークな作品だと感じました。



■審査員コメント

それまではバラバラであった音がビタリとシンクロした瞬間はとても気持ちのいいものです。高校生という感受性豊かな時期にその体験ができたことは大変貴重なことです。その仲間たちとは今後も続く一生の友になるでしょう。その瞬間が映画フィルムの一コマであるとの表現は、日常にこそ素敵なことが隠れているのだと思わせてくれます。そんなことから私たちの時間は「構築」されているのです。



■審査員コメント

人間は物質でありながら、生命や精神、感性という非物質から成り立っています。そこに注目してデザインの手掛かりにすることで、よいデザインプロセスの結果がここに表れていると思います。わかりやすく、伝わりやすいという点で、優れたデザインだと思います。プレゼンテーションで話されたここ哲学的ゾンビに陥りかねない現代人への警鐘をここで表現できれば、より深い内容になったように思います。



■審査員コメント

自らの身体がどのようにして生成されて消費されていくかに眼を付けて、五大栄養素を力強く発信することで、ストレートに「構築」が表現されています。単に生命体の新陳代謝に役立つ栄養だけでなく、おいしい食事が心を満たすことに着眼したことも大切です。肉体と心で人間が構成されていることがわかりやすく示されています。



■審査員コメント

一番というのは一人しかねないの一番以外の人が圧倒的多数なのですが、競争社会においてはマジョリティが悔しい想いをします。これまでの自信の経歴をアイロニックかつ率直に表現した作品ですが、その思いは非常に伝わってきます。ただ、人生まだ始まったばかり。いつでもスタートを切れるのでこの瞬間からダッシュすれば、いつか一番になれることがあると思います！

第9回わたしデザイン 応募作品
テーマ「構築」



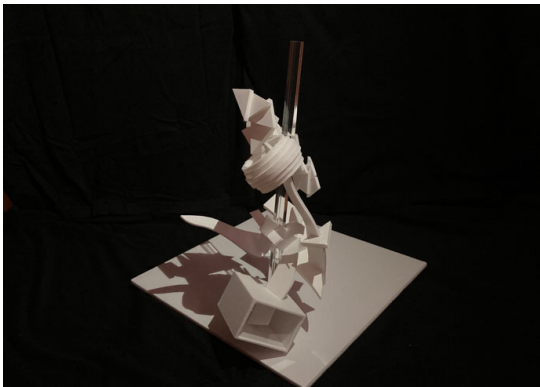
■審査員コメント

パッと見た印象では単にお花を表現した絵画のように感じましたが、説明文を読むと人と、人が繋がって構築されていく様や新たな関係を生む色彩の重なりであることがわかりました。そして画材がストローやハンガーを使っているという点に驚かされました。それを受けての感想ですが、ハンガーなどを使った痕跡（例えばフックの部分が1箇所だけあるとか）が少しあっても良いのではと感じたことと、なぜ日常の道具を使ったのか、その根拠も伝わったり説明文に書かれていると更に深みのある作品になったと思います。



■審査員コメント

人と人とが交わした言葉とその経過を図形と色で抽象的に表現していて独特の表現がされています。絵を見れば大体の内容は伝わると思うので、左上に書かれている説明的な文章ではなくて、広告のコピーのような短文にして、文字のデザインにもこだわって配置すると良いと思います。



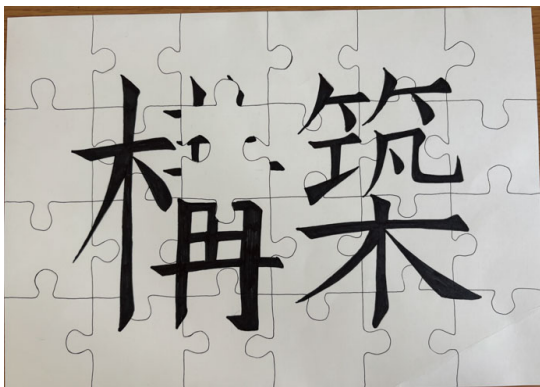
■審査員コメント

人の人生を「構築」という建築的な行為に重ね合わせた発想がとても印象的です。言葉からも伝わるように、作品の背景にはしっかりと思索があり、スチレンボードの端材という素材選択も、「不完全さ」や「再生」といったテーマに呼応しています。抽象的な構成ではありますが、光と影の扱いによって「重み」や「時間の流れ」が感じられ、静かな説得力を持った作品になっています。抽象度が高く理解には少し時間を要しましたが、伝えたい思いがしっかりと込められており、強い意志の感じられる作品でした。作品の意図をもう少し視覚的に伝える工夫があると、見る人にもより深く届くと思いました。とても丁寧で、成熟した感性を感じる作品です。



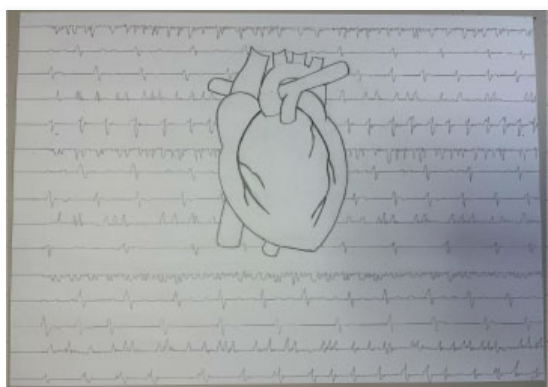
■審査員コメント

奥行きを意識した構図がよく考えられています。灯籠の明かりが幻想的で、都市の光との対比が美しいです。緑と光のバランスも良く、穏やかで静かな時間が感じられます。灯籠の光や水面の反射をもう少しシャープに捉えると、光の「構築」がより際立ちより印象深い作品になるでしょう。



■審査員コメント

一目で狙いが伝わるシンプルなデザインが深く、心地良い作品です。水平垂直、モノクロームの構成も狙いを強く主張しています。しかし、コンセプトを読んでもみると、いろんな狙いや思いもあったようで、その辺りは少し伝わりづらく残念でもあります。「シンプル」は「洗練」と同義語と考え、「単純」とは受け取られないような創意工夫が必要だったりします。



■審査員コメント

理論的に構成要素を選定し、意味を構築して制作されている作品で好感がもてます。モノトーンを選んでいることも不安定さを感じさせる効果に合致していると感じます。ですので、構成要素をより多角的に利用して空間感を出したり、心臓を描く視点を変えるなどの工夫でよりメッセージ性を強めることができるのではないかと感じました。構成要素の選定から一歩踏み込んで、そういった要素の活かし方にこれから期待をさせられる作品だと感じました。

第9回わたしtoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



■審査員コメント

一見するとかわいい羊のようなイラストが印象的ですが手の表現との違いで少し不気味な印象もあります。人間が神の領域に手を出していることに対する警鐘が隠れているように感じました。羊のふわふわした毛を生地を使って表現している点が面白いです。平面的なイラストと質感のある生地を使って制作するというのはいい案だと感じました。



■審査員コメント

誰にでも一目でわかり、コンセプトを明快に伝える為の具現化に成功しています。イラストとしてもセンス良く必要最低限の線で表現されて魅力的です。欲を言えば、眼には見えない要素も「自分を構築する」とし、表現にうまく取り入れてくれると、より深みのある作品になったように思います。次回作を楽しみにしています。



■審査員コメント

「構築」というテーマを、抽象的な形や素材感の積層という手法で捉え、その行為の過程と意義を視覚化した知的で示唆に富むアートポスターです。作品を構成する幾何学的な要素と明確な色面配置は、モダニズムやバウハウスを感じさせる機能美と構造美を追求した洗練された造形が、力強い視覚的インパクトを与えています。木材やコンクリートを思わせる質感と温かみのある色合いの選択がとても魅力的です。さらに、「未完成の美」を大切にしたデザインというコンセプトが秀逸です。構築という行為が常に進行形であり、成長や変化を内包することを示唆しており、単なる完成された静物ではなく、未来への可能性を秘めたダイナミックな生命力を作品に与えています。テーマへの深い考察と、現代デザインの文脈を取り込んだ手法が見事に融合した、完成度の高い作品です。



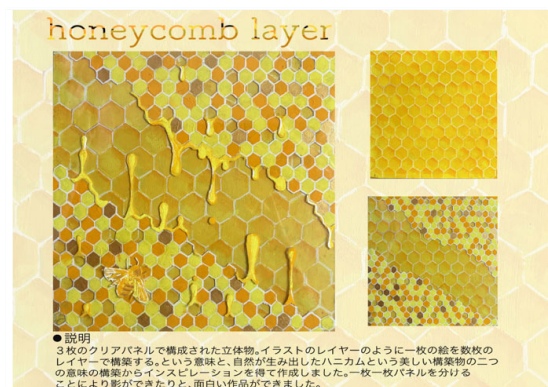
■審査員コメント

非常に哲学的な視点から「構築」というテーマに取り組んでおり、発想の深さに感心しました。神と人間、そしてその外側にある地球という三層構造で世界を捉える視点は、独創的でスケールの大きな思考を感じます。一方で、地球のポップな描き方が視覚的に強く、第一印象ではその軽やかさに意識が引かれてしまい、内包する深い意味にすぐには気づきにくい印象もありました。もし今後発展させるなら、視覚的な表現と哲学的なメッセージの「重さ」のバランスを工夫すると、より説得力のある作品になると思います。とても意欲的な挑戦でした。



■審査員コメント

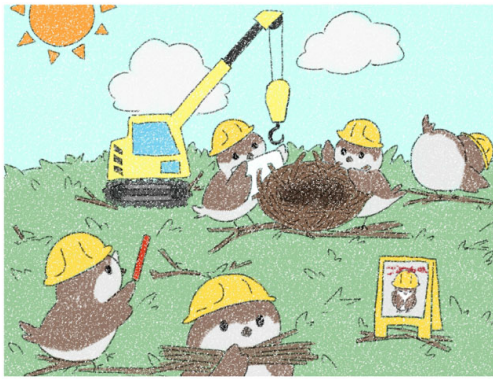
人の成長を三角錐の立体として表した本作品は、構築のテーマを三次元的に捉えた点が特徴的である。成長は直線的に進むのではなく、個人ごとに異なる形を取りながら積み重なっていくことを表現している。また、生まれたばかりの人は無色であり、その後の人との関わりの中で様々な色が付加されていくという解釈も面白い。同じ形や色の組み合わせが存在しないことが「個性」を象徴しており、構築の多様性と人間性を同時に描き出した深みのある作品といえる。



■審査員コメント

とても魅力的な作品です。自然界の造形物の中でも蜂の巣の持つ構造と美しさ、緻密さが今回の構築のテーマにぴったりだと感じました。また説明書きにあるようにデジタルだけではなくアナログの力強さが作品をより深みのあるものへと変化させ、特に重なりを持つ影が効果的です。カラースキムも美しくイエロートーンでまとまっている中にも濃淡や色幅を持たせた所も効いています。これからも両方の手法の良いところを活かした作品作りに期待大です。

第9回わたしデザイン 応募作品
テーマ「構築」



■審査員コメント

野鳥の営巣の姿を観察すると、あたかも設計しているかのように適切な寸法 of 材料を集め、勤勉に組み立てている様子がわかります。そこには計画性とデザインが明らかに存在すると思います。人間だけでなく小動物でも同じような構築能力があるというこの発見、その感動を優しいタッチで図像化した作品です。とても愛らしい作品制作の姿勢に感心しました。



■審査員コメント

親戚の方からも褒めていただけたつまみ細工を使い「構築」の文字を表現したとのこと。自分の得意分野で他者に何かを訴えかけると言うことはとても大事なことです。伝えたいことを発するときに自分自身の言葉を持っていることが今後、ますます大事になっていくと思います。「構築」と読めないかもの危惧をおっしゃっていますが、確かにそうかもしれません。これは立体作品ですので仕上がり写真を掲げて投稿することから、あらかじめもっと大きな台紙に製作して写真をA3サイズにすれば課題条件はクリアです。とはいえ、読めそうで読めない、言われてみれば確かにそう見えるくらいの匙加減が良いのかもしれない。



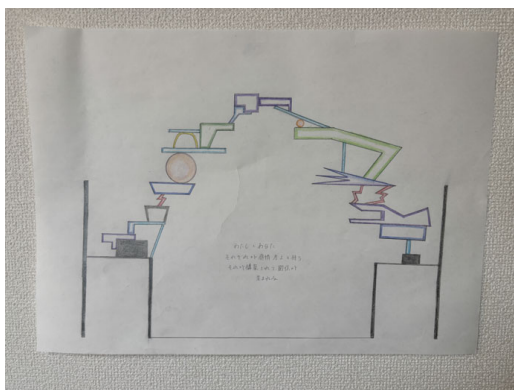
■審査員コメント

1年に一つのモノを積み上げて構築される「私」が愛らしいタッチで表現されています。構成要素は形も大きさもバラバラで、丁寧に積み上げてても形は不整形になります。そんな不整形で不安定なところにさらに一つを積み上げていって、構築されていくということが人間の営みなのかもしれませんね。



■審査員コメント

適当にちぎった、その適当という点とうまく組み合わせる、という2点がもう少し練られていると良いなと感じました。こういった即興をテーマにした場合、何度も何度も紙をちぎって、自分のイメージに近いものが出てくるまで繰り返したり、何枚もの作品を作成した中からイメージやメッセージが伝わるものはどれなのか、選別するなど、裏側で繰り返される見えない行為が重要になってくると思います。考え方や狙った意図はとても良いと思いますので、より高みを目指すように頑張ってください。



■審査員コメント

相手との関係における様々な感情が重なり合いながらも時間の経過とともに積み重なり繋がっていく。まさに人間関係の構築を象徴させて表現した作品だと思えます。しっかりと繋がっているようで、細く華奢なつながりはちょっとしたキッカケで崩壊する可能性も秘めながら、この先も繋がりが重なり続けて太く頑丈に構築されていくのか、そんな若者同士の友情の危うさを絶妙に表現できていると思います。



■審査員コメント

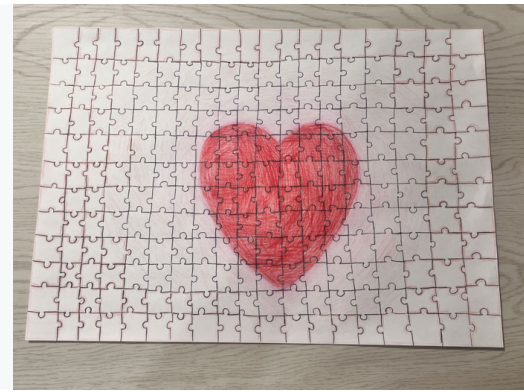
対称性を持たせながら、柔らかな色彩と質感で表現されていて伝えたい雰囲気伝わってきます。手描きで制作されていることも癒しや繊細さにつながっていると思います。提出の規定でA3機使用が指定されているので、合わせるとう良かったと思います。このビジュアルをもとにして各図が動くアニメーションのような表現にするのもよさそうです。

第9回わたしデザイン 応募作品
テーマ「構築」



■審査員コメント

異なる素材や形を組み合わせる人間関係の構築を表現しているのが良いですね。素材の多様さがそのまま個性や関係性の違いを表していて、コンセプトが造形にきちんと結びついています。全体のバランスも安定しており、積み上げの構成に説得力があります。背景や照明の工夫で素材感をより引き立てると、作品の印象がさらに豊かになるでしょう。



■審査員コメント

多くの人と共有しやすいシンボリックなモチーフを利用し、シンメトリーに近いシンプルな構成は深く、伝えたいイメージは良く感じ取れます。ただ、構築というテーマをすぐに連想出来るか？と問われれば、少し物足りない気も致します。コンセプトでご本人も書いているように、信頼関係を築き、「愛」までに昇華させるのは簡単ではありませんよね？ 困難を乗り越えたり、乗り越えられなかったり、様々なドラマが「構築」された上で、ほんの一握りだけが「愛」まで到達できる？そんな複雑な構築を感じさせてくれば、もっと作品に引き込まれそうな気がします。次回作、期待しています。



■審査員コメント

構築というテーマに物語性を上手に付与して発展させることができている作品です。その発想の展開がユニークで魅力的だと感じます。構図や構成要素の意味もしっかり考えられており、説得力を持たせられていると感じます。また、見る人に「自分はどんな巨人の肩に立っているのか？」と問いかけてくるような、物語性の高い一枚だと思いました。ここでは肩に乗っているということが重要な気がしますので、2者の大きさや位置関係の描写がよりの確になされるとより素晴らしいと感じました。



■審査員コメント

1日の行動を6時間の時計で表しているのですがこれはB面で午後の表現がきつとあるんだらうと感じさせます。何気ない日々の積み重ねが成長であり、「構築」なのだろうと改めて思わせてくれます。睡眠が7時間である点や移動時間が長過ぎる点、食べることだけ明るいのできつと好きならうと、クッスとしてしまう内容でこの方の日常が垣間見れて面白と感じました。

この写真が「構築」と言えるのは、自然物である木と人の手による支柱が調和し、一つの目的のもとに構造が意図的に作られているからです。

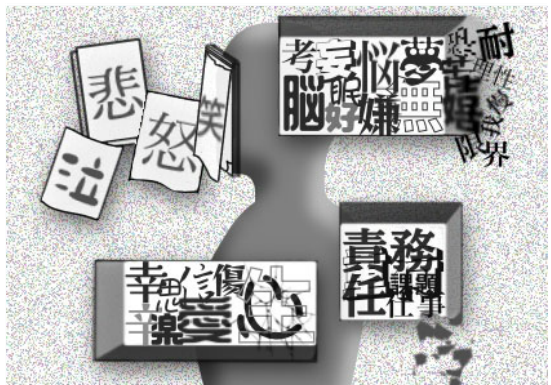
写真に写る松の枝は、時間をかけて大きく広がり、その重さや形状の変化に耐えるために、無数の木製の支柱で支えられています。これらの支柱は単なる補助ではなく、枝の伸び方や向きを計算したうえで配置されており、人が自然の成長に寄り添いながら空間を「構築」していることがわかります。

つまりこの景色は、木の生命力と人間の技術・意図とが交差する「構築的な風景」であり、美的にも構造的にもバランスがとれた人工的・自然的ハイブリッドな構造体と言えるのです。単なる自然の風景ではなく、手が加えられた「構築物」としての魅力を感じさせます。



■審査員コメント

これは兼六園でしょうか。自然物である松の木と、人間の手による木製の支柱が調和し、「構築」というテーマを「人工的・自然的ハイブリッドな構造体」として捉えた、非常に知的な作品ではないでしょうか。松の枝の重さや形状の変化に耐えるために配置された無数の支柱は、単なる補助ではなく、枝の伸び方や向きを計算したうえで配置されているという点に着目し、人が自然の成長に寄り添いながら空間を「構築」している様子を「構築的な風景」として捉え直しています。木の生命力と人間の技術・意図が交差するこの構造体は、美的にも構造的にもバランスがとられており、写真を通して手が加えられた「構築物」としての魅力を感じさせますが、自分の手を加えることで作品としての意味が出てくると思います。



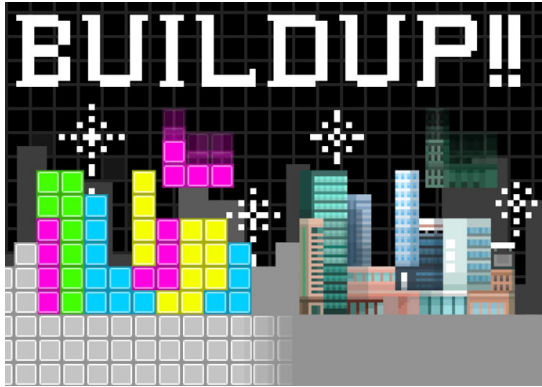
■審査員コメント

「人間を構築する」というテーマに対して、内面の複雑さや脆さを素材と形で丁寧に表現しており、非常に興味深い作品でした。

心のひび割れ、肩にのしかかる重さ、仮面のような外面など、身体の各部位に象徴的な意味を与える構成が明確で、作者の観察力と構成力が感じられます。全体に漂う暗い雰囲気も、人間存在の不安定さや葛藤を的確に表しており、表現として成立しています。

一方で、混沌とした印象がやや強く、見る人にとって“何を感じてほしいのか”がもう少し整理されると、より深く伝わる作品になるでしょう。テーマ性の高い力作です。

第9回わたしtoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



■審査員コメント

都市の構築過程を「ゲーム」と結び付けて表現した点が斬新である。建物が下階から徐々に立ち上がっていく姿を、ゲームにおける時間的な進行と重ね合わせることで、都市形成を遊戯的かつ視覚的に表現している。さらに、ゲームの色の違いを建物用途の違いとして読み取れる構成となっており、都市の多様な姿をシンプルな表現で提示している点が評価できる。都市開発のリアルな側面と、ゲームという身近なメディアを結び付けることで、鑑賞者に新しい視点を与える意欲的な試みである。



■審査員コメント

折り紙を折る手順を記憶し内部化することで、あたかも体が覚えている感覚によりつくられていく。そういった過去の経験や蓄積された感覚から生み出される「構築」に着目しており、非常にユニークな発想に基づいています。しかし、構築から折り紙を説明して、さらにその逆の説明もしやすくできれば、優れたデザインになると思います。



■審査員コメント

「構築」というテーマを頭の中の想像の組み立てとして扱った本作品は、建築やデザインにおける創造の根本に迫るものである。無から有を生み出す葛藤や、曖昧なイメージを徐々に具体的なものに近づけていく過程が表現されており、制作過程そのものの意識が反映されている。作者の思考過程と建築・デザインの根源的な課題が重なり、鑑賞者自身も共感を抱きやすい。抽象的な発想をあえて可視化し、思考の積み重ねとして「構築」を提示した点が高く評価できる。



■審査員コメント

この画面では一人の作業者しか見えませんが、見えない向こう側には無数の人たちが一つの目標に向かって努力している。そのことを一枚のえで表現しているのですね。とても良い視点だと思います。見上げたような構図からこの現場の大きさが伝わり、たくさんの方々に支えられているのなことにもつながると思います。「構築」の文字はしっかりとレタリングした方が良かったかなと思います。



■審査員コメント

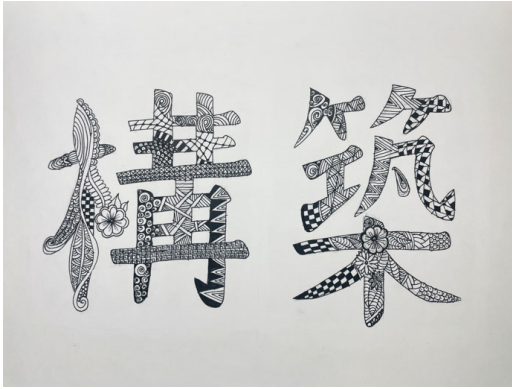
分解と再生という自然界を支配する構築のプロセスに着目し、「ホエルフォル」のイメージに飛躍するという非常に興味深い作品。しかし、その物語と図像としての作品の間を結びつけることが難しく、読解が困難な点が残念です。ここまで抽象化しなくても、もう少し具体的な表現に近づけても、作品の魅力が低下することはなかったかも知れません。抽象化作業における葛藤はこれからも建築・デザインの学びの中で深め続けてほしいです。



■審査員コメント

日々の生活の構成要素が人生を形作っているというのは、共感できます。日常の積み重ねが自分になっているのですが、この絵は受験勉強をしている男子学生のように見えました。

第9回わたしtoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



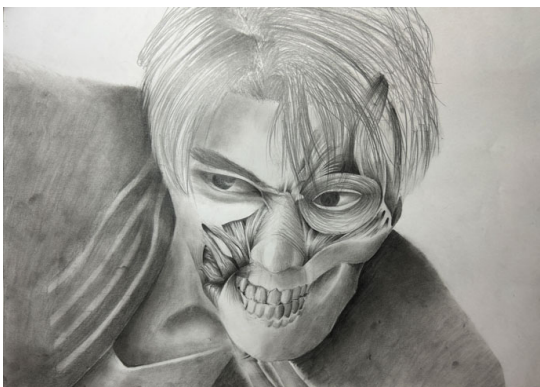
■審査員コメント

コンセプトやゼンタングル風の表現は緻密でとても良く描けていると思います。説明書にあるように思考やアイデアの重なりが平面的な表現だけではなく、もう一歩立体的であったりレイヤーが重なるように表現すると、厚みを持たせたり魅力的になったと感じます。また文字のフォントもあえて標準的な書体としたのかも知れませんが、どこかが太ったり重なりがあったりと、オリジナリティをもっと出したほうが更に魅力が出たと思います。



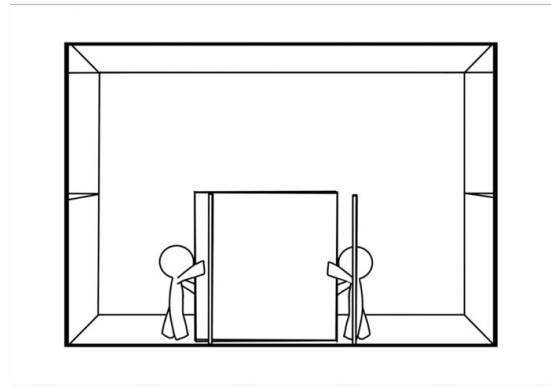
■審査員コメント

構築というテーマから、わたしtoデザインの募集時期のアイデアらしいお祭りのヤグラに着目した作品ですね。模型の縮尺がわかりませんが、木材と紙を使った立体表現が良いですね。せっかくなので模型の周りに中へ中へ一スールの人の模型やシルエットを背景とすることでより活気ある魅力的な表現になったと思います。いっそのことを背景や環境を暗くして、照明に凝るまで徹底的にお祭りの楽しさやヤグラの魅力を伝える表現にしても良いと思いました。



■審査員コメント

選んだモチーフ、難しい状況設定、そして、しっかりと描写力を活かす事で、とても印象に残る本作が仕上がっています。インパクトは満点ですが、残念なのは本人が狙った「頭が作られた過程」「運動感」と言えなく、構築された様子を皮肉る「時間による変化」のような情報を感じ取る事が出来ませんでした。皮膚や筋肉の細胞などの細胞が壊れ、構築されている様子が多くの人に伝わる動的表現となれば、あなたの狙い通りの説得力のある作品になったのでは？次回作、期待しています。



■審査員コメント

ごくごく単純な棒人間ふたりが画面の中に存在し、一見すると簡単なアニメーションのように見えるましたが、1巡2巡と観ていくとこの作者の構築に対するメッセージを受け取ることができました。観てはコンセプト文を読み、ますます好きな作品となりました。時間と手間をかけて構築された空間も再び無になる点も、大きな時代の流れの中で作ってはい消えていく歴史を表現しているようで強いメッセージを感じ引き込まれました。強者どもが夢の後、諸行無常ですね。



■審査員コメント

音楽記号を組み合わせ「構築」という文字を作るアイデアがとてもユニークです。白と黒のみで構成することで、無機質さの中に音楽の構造的な美しさが際立っています。外枠の五線譜が画面を引き締め、全体に安定感が感じられるデザインです。記号の配置や太さに微妙な変化をつけること、より音の流れやテンポを感じさせるポイントになりそうです。



■審査員コメント

しっかりと思考が行き渡った作品で、大変好感が持てます。メッセージを伝えようとする誠実さとか強く感じさせられ、その点でも大変素晴らしいと感じます。構図や構成といった工夫を施して、画面に空間感を出したり、質感を持たせたせるなどの技巧を加えていくことを考えてみてください。その過程で様々な可能性と苦悩に出会うと思います。それによって表現の幅が広がり、メッセージを強く表現できるようなものと思います。

第9回わたしデザイン 応募作品
テーマ「構築」



■審査員コメント

創り上げることと壊すことが同時に行われている点が興味深かったです。無表情の少女がブロックを壊し積み上げる姿からは希望など明るい点は感じられず、苦役を意味しているように思えました。動画作品ですので繰り返しのうちに少し変化を入れても良かったかもしれません。ですが、ループし延々と見てしまう中毒性のある作品だなと思いました。



■審査員コメント

「構築」を「自分の人生そのもの」として捉え、「十人十色」という言葉をインスピレーション源に多様な存在が重なり合ってきた今の自分を表現した、内省的でありつつもパワフルな作品です。周囲の人々や環境、さまざまな出来事や感情に支えられて形づくられてきた自己を表現するため、10色を選び、それぞれの色に自然や命、感情、内面などの意味を込めるという手法は、多層的な自己のあり方を象徴しています。最後に白で自分の足型を残すことで、すべてを踏まえて今ここに立つ自分を表現し、過去と現在、内面と外面のすべてを受け入れた「自己の構築」を力強く宣言しています。多彩な色彩と足型のコントラストが、生命力と個性を感じさせるエモーショナルな力作です。ただし、作品の完成度を高めるには作品写真の撮影方法も重要です。作品外の壁紙の色がこの力強さを大きく損ねる要因になっています。



■審査員コメント

「人の心を構築するもの」というテーマに対し、喜怒哀楽や経験、環境といった多層的な要素を視覚的に整理して表現している点が非常に興味深いです。色のグラデーションや、まとまりごとに異なるフォントを使う工夫は、それぞれの心の要素の個性や雰囲気をもよく伝えてくれます。文字の配置や引き伸ばし方、密度の調整もテーマに応じた設計が意識されており、デザインの完成度も高いです。今後は、この多層性をさらに立体的に見せる表現や、グラデーションの動きに物語性を持たせる工夫を加えると、より鑑賞者に伝わりやすくなるでしょう。非常に考えられた意欲作です。



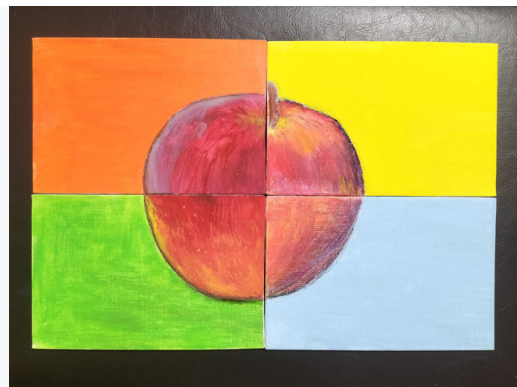
■審査員コメント

不本意ながら破壊されていく街。そして何事もなかったかのように再生されていく街。これを私たちはいつまで続けていくのでしょうか。そこに一人の少年が一本の苗木を植える。そこには無彩色だった街の中で唯一の色彩があり、やがて花が咲き、実がなることを予感させます。未来に向けて希望を持てる清しい一連の詩のようです。そして画面構成がとても良く、文字で書かれる詩ではない効果を生んでいると思います。



■審査員コメント

砂時計と街を重ね合わせて「構築」を表現した作品であり、日本の街が震災・火災・戦争といった破壊を繰り返しながら再構築されてきた歴史的事実を想起させる内容となっている。建物 completes までの時間の長さや、同じ用途の建物であっても新たに構築される際には以前とは異なる姿を取る点を、砂時計の比喩を通じて描き出している点が印象的である。時間の経過と構築の関係を明確に意識させ、都市の変化を歴史的かつ詩的に表現した点が評価できる。



■審査員コメント

構築」というテーマから林檎を選び、禁断の果実から現代の多様で明るい人間関係へと読み替える発想がとても豊かだと感じました。四分割されたキャンバスと画材の違いが、一人一人の価値観や個性の細かな差異をさりげなく表しています。ビビッドな4色の背景も、集団としての活気やポジティブなエネルギーを力強く伝え、見る側に前向きな気持ちを構築してくれる作品だと思います。今後、果実の質感や光の表現をさらに探っていくことで、物語性がいっそう深まっていきそうで楽しみです。これからの制作もぜひ見てみたいです。

第9回わたしoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



■審査員コメント

「構築」ということは、躊躇なく逡巡なく進むものではなく、迷いながら作り上げていく、そういう経験を図像化しています。構築することは計画的に一直線につくることではなく、創造過程の隙間に眼を向けてデザインされている点が非常に印象に残る作品です。



■審査員コメント

テーマについての回答がしっかりと伝わりました。蜘蛛の巣をモチーフとしながらも蜘蛛が登場せず、色彩についてもさまざまな色が絡まっていて、直接的な表現ではなく自分の中で考えた表現になっているところが良いと思いました。また、背景の青い空の鮮やかさと、中央の太陽のような光源もポジティブな気に向かっていく雰囲気があるて綺麗です。縦構図にしたかったのかなと想像しますが、画面サイズの左半分にヴィジュアルが収まっていて勿体無いので、横位置なりの構図で画面全体に広がる写真にしても良いと思いました。



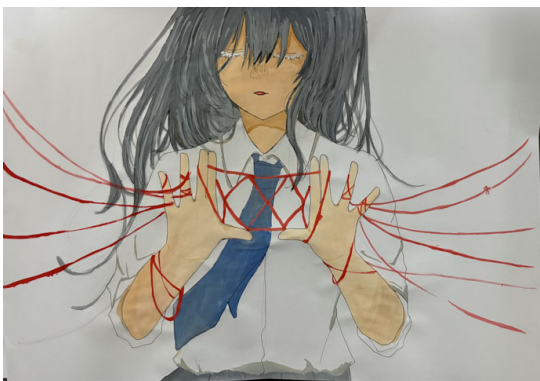
■審査員コメント

「構築」を建築作業と結びつけ、直線的で抽象的なデザインで表現した作品であり、青系の色調で統一された建設途中の建物と、周囲で作業する簡略化された人物像が、調和と協働の精神を象徴しています。人物は動作のみによって役割が表現されており、全体の構成が、未来的な都市の創造を強く連想させます。構造的な美しさはありますが、作業する人物が簡略化され動作のみで役割が表現されている分、個々の作業者のエネルギーや、建築現場の活気を、光の反射や青色のグラデーションを工夫することで、よりダイナミックに表現する余地があるでしょう。



■審査員コメント

バラバラになったかのように見える街や社会を小さな手で正しい位置に嵌めていこうとする姿がとても健気です。これから世の中を担う若い人たちがそんな思いで未来に向かっていくことをとても頼もしく感じます。ピースを持つ手がいくつかあって、みんなで修復していこう、なんて表現もできるかもしれませんね。



■審査員コメント

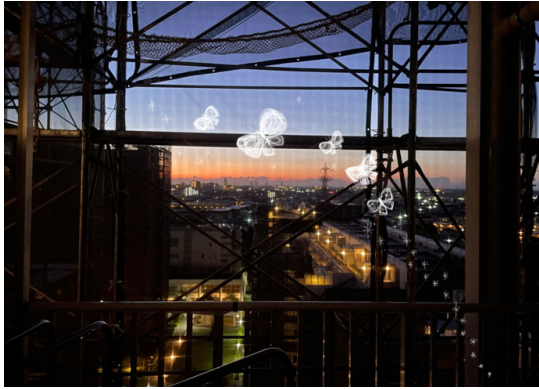
赤い糸をモチーフに人生や人間関係の「構築」を描く発想が詩的で魅力的です。淡い色彩の中に赤が効果的に配置され、感情の揺らぎや繊細さが伝わってきます。制服姿や白い背景など、モチーフにも意味づけがありよく考えられています。糸の太さや濃淡に変化を持たたり、手の形を丁寧に表現すると、さらに緊張感や奥行きを感じる作品になるでしょう。



■審査員コメント

人間の根源であるDNAをモチーフにし宇宙を表現したのは理解できました。その一方で、「構える」「築く」というニュアンスが表現しきれなかったところが少し残念ですね。それと周りの模様が単純に撮影時の背景なのか、作品の一部なのかがとても気になりました。

第9回わたしtoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



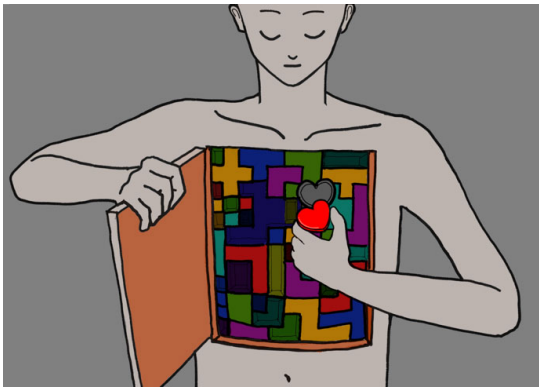
■審査員コメント

改修工事に際し組み上げられた無機質な単管の足場は、窓からの眺望を遮り住人にとっては厄介な構築物として捉えられる中、作者は無機質な中に蝶々のイラストを入れ込むことで、柔らかな景色へと前向きに変換させている点が興味深いです。またマジックアワーの時間帯を狙った撮影も作品を魅力的にさせています。早く足場が取れるといいですね。



■審査員コメント

色々な画像がコラージュされていて楽しい作品だと思いました。作文と作品を見比べて描かれている内容はわかりました。テーマに対しての回答(表現)をする際になぜそう思ったのか、なぜそう考えたのかということを意識したり、伝えたいことやメッセージは何なのかということを、相手に伝わる・感じるようにコミュニケーション(デザイン)することが大切だと思います。



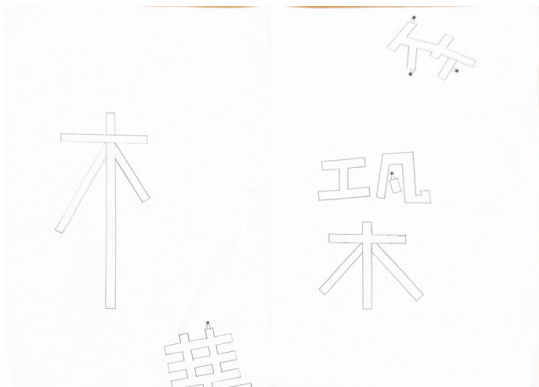
■審査員コメント

コンセプトも絞り込まれ、表現もシンプルで無駄がなく、誰にでも狙いが伝わるデザインに落とし込まれています。欲を言えば、どうしても「構築」からパズル、ブロックなどを連想し、利用するケースはとても多く、共有しやすいモチーフであると同時に、「ありがた」な印象になってしまうリスクもあります。あなたならではのチョイスや、ひと工夫が足されたなら、より魅力的な作品になると思います。期待しています。



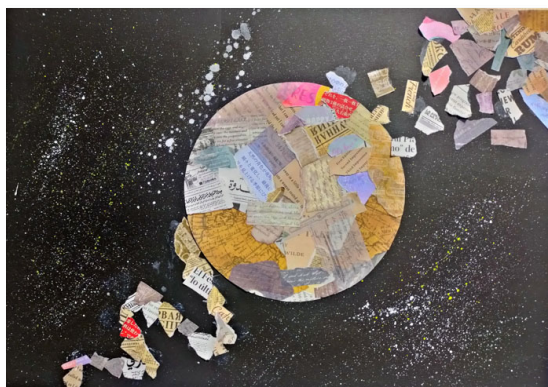
■審査員コメント

人の人生を「構築」に見立てた本作品は、記憶や経験の積み重ねが個性を形成していく過程を示している。積み上げられた要素が人の背よりも遥かに高くなり、その先にどう積み上げていくかを想像させる構成が印象的である。バランスが崩れそうな危うさや、一度崩れて再び組み直す可能性を孕んでいる点も、人生の不安定さと再生の力を象徴的に表している。また、空間の隙間や光との関係に注目している点も高く評価でき、創造性やバランスを追求しつつ「不安定さ」を積極的に取り込む姿勢が印象的である。



■審査員コメント

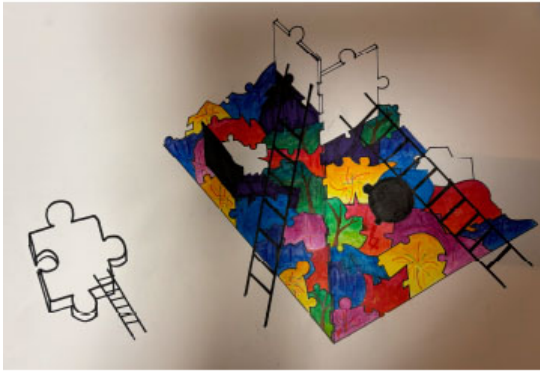
小人がパーツ運びながら文字を組み立てていくという発想が面白いですね。パーツのずれや人の配置にも動きがあり、完成に向かう途中の様子を感じられました。画面の余白が広く、平面で、線が細いので、もう少し線を太くして背景を付けるなど、立体感出すと視線の集中が高まり、より完成度が上がると思います。



■審査員コメント

文字で世界を捉え表現するという点にはとしました。現在私達が使っている文字は先人たちが「構築」してきたものを引き継いでいるのだと改めて気づきました。地球上で使われる様々な文字は相互を理解するための一助となっています。言葉という消えてしまうものを見る形で存在させ、残すことが出来る。文字というものが面白いものだと思わせてくれる作品です。

第9回わたしデザイン 応募作品
テーマ「構築」



■審査員コメント

黒い線画による表現や原色に近い色使いなどポップで楽しい印象が魅力的な作品です。コンセプトを読むと、あらゆる要素に意味や意図がある様子。それらの狙いが作品だけで伝わるように構成したり、表現力がアップすればより説得力のある作品になりそうですね！期待しています。



■審査員コメント

巨大な「構築」という文字そのものを工事現場に見立てた発想がとてもユニークで、テーマの意味を一目で伝えてくれます。小さな人々や重機の動きが生き生きと描かれていて、さまざまな職種が力を合わせて一つのものを作り上げるプロセスの楽しさと大変さが伝わってきます。細部まで物語を込める視点がすてきで、見ている側と一緒に作業に参加しているような気持ちになります。今後、色彩や構図のバリエーションを試すことで、さらに表現世界が広がっていきそうで楽しみです。



■審査員コメント

自分というものを構築する要素として知識や記憶、思考と捉えた点が哲学的で大人っぽいなと感じました。またそれら表現するためにキューブが発生し続けるという点も面白いです。最初はキューブだけで良いのかなと思いましたが一見すると同じような箱であるが中身が違うという方が表現として適切のように感じました。パイライトという鉱物がありますが単純な立方体だからこそ物質の不思議さを感じることが出来ます。この作品からも同じ感覚を味わいました。



■審査員コメント

愛情の構築をすこくストレートに表現していて好感を持ちます。良いことも悪いことも含まれた他愛ない日常を積み重ねることでした構築出来ないのが愛情なのだこの作品で感じる事ができました。永遠ではないからこそ愛おしく今を大事にしなくてははいけないと改めて想いました。



■審査員コメント

足跡という身近なモチーフから、構築を「残るもの」として捉え直した視点がとてもおもしろいです。大小さまざまな色の円が集まってひとつの足跡を形づくることで、異なる要素が重なり合って今の自分や社会が生まれている感覚が伝わってきます。余白の広さも、一步一步これから歩んでいく道のりを想像させてくれて心地よいです。円の色や配置を変えることで、足跡ごとの物語をさらに広げていけそうだと感じました。構築を足跡としてとらえる発想が、自分の歩みを見つめ直すきっかけにもなりそうだなと感じました。



■審査員コメント

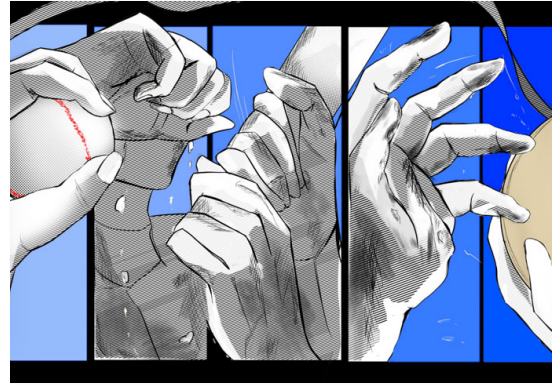
「構築」を構築しているという禅問答のような状況を描いており、またそれに対して取扱説明書まであるという点が興味深いです。手に持っている1ピースが少し発光していることでこのピースを次はどこに嵌めようか逡巡しているように感じられます。悩みながらひとつひとつを組み立てていく、まさに構築だなと感じられました。

第9回わたしtoデザイン 応募作品
テーマ「構築」



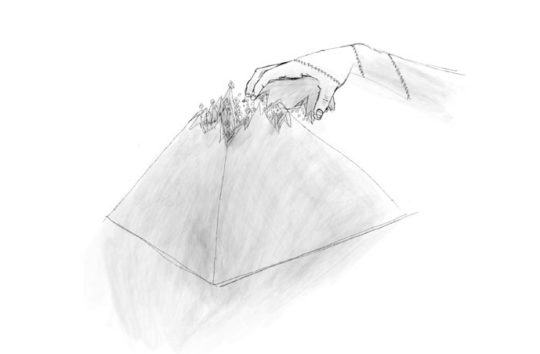
■審査員コメント

雨降って地固まる、苦労や大変なことがあっても頑張っ乗り越えた後に成長や恵みが訪れる。そんな自然界の景色を人間の成長と重ね合わせて表現した作品ですね。過ぎ去った黒い雲の後に広がる水々しさや澄んだ空気、色鮮やかに感じる花畑、そして様々な個性を持った花たちも人の多様性を表現し、自分らしくいて良いんだと、見た人の心を前向きにさせてくれる素敵な作品だと思います。



■審査員コメント

努力を積み上げていくイメージを、手だけで演技させ漫画のような表現をしているのが良いと思いました。手はだんだんと表情が出てきて、また背景の青も時間の経過とともに色鮮やかに変化していて、ポジティブな印象を受けました。背景の青の四角の隙間の間隔や揃えることなどに意識的になるだけでより綺麗な作品になると思います。



■審査員コメント

「構築すること」そのものを問いているのが印象的です。構築と作品の間にある労力や消耗、そして創造の痛みまでを可視化している点を感じられます。鉛筆の繊細な陰影や手の縫い目の表現にも、制作者自身の体験や葛藤が重ねられています。構築の過程をあえて解体するという発想も新しく魅力的です。形や質感をよりの確に捉えるために、描写力を高める努力を続けると、作品の完成度が上がると思います。



■審査員コメント

衛生面の問題で減少している砂場の代替案として、枯山水を参考にした参加型の庭を提案した、社会性と創造性を兼ね備えた意欲的なデザインだと考えます。小石を敷き詰めたエリアでは、砂紋を描くことで短時間の構築を、金網製の鉢（ガビオン鉢）に土と種を入れ、植物の成長を見守ることで長期的な構築を体験できるという時間軸の違いを提案している点も評価したいです。これは、子どもたちが「唯一構築できる場所」を失いつつある現状に対し、遊びを通して「構築」のプロセスを多角的に学べる場を提供するという、非常に実用性が高く、教育的な価値のある提案です。単なる玩具ではなく、自然との関わり、協力、そして創造性を育むコミュニティデザインとして高く評価できます。



■審査員コメント

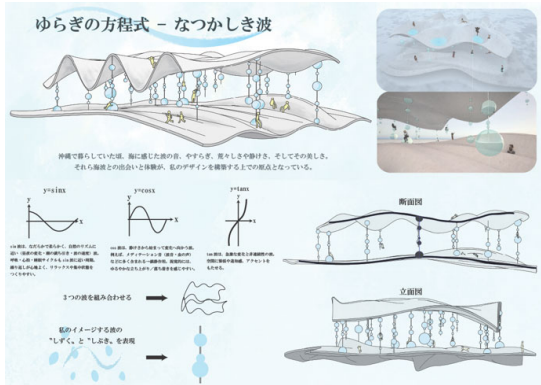
よく作り込まれた力作です。平面的でグラフィカルなクリーンの表現、それらと対比する発色の良いパーツの色使いが効いていて造形的センスの良さを感じます。コンセプトや狙いもシンプルで良いのですが、「過程が大切である」という強い思いのアピールが少し弱く、もっといいなと思いました。場合によっては動画などで「過程の試行錯誤」を表現しても楽しそうです。次回作、期待しています。



■審査員コメント

「ごろごろする」という行為に着目し、リラックス感と交流を大切にしたい休憩用の腰かけを設計した、建築的な着眼点の作品であり、それらが群を成すことで小さな集落にも見えます。「利用者がGOROGOROを色付けていくことで、どんどん構築していく」というコンセプトは、利用者の行動や感情が空間を完成させていくという、参加型のデザイン思想だけでなく、そこから場に対する愛着が育まれるはず。快適な休憩を提供するだけでなく、人々の感情の動きや共有といった無形の価値を生み出す提案ではないでしょうか。様々な利用者が交流することを促すため、ユニットをさらに有機的に連結・変形させる仕組みや、異なる利用者をゆるやかに隔てるデザイン、いわゆる「群を構成するためのルール」を加えることで、多様なコミュニケーションの形をより豊かに構築できるでしょう。

第9回わたしtoデザイン 応募作品 テーマ「構築」



■審査員コメント

海のゆらぎは様々な波形の集合体ですので、構築という言葉と親和性があると思います。三角比と感覚の関係性はそれぞれの解釈があると思いますが、sin波とcos波は位相が異なるだけで形状は同じなので、それは知っておきましょう。屋根となるであろうゆらぎが構築的であるのに対し、しびやしびしが直接的であるので、そのあたりにもう一つ工夫があるとより良かったと思います。でも、素敵な作品です。



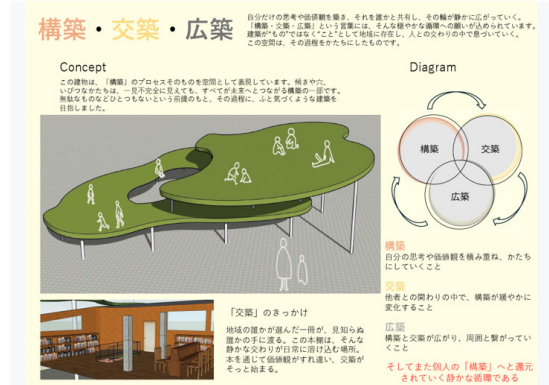
■審査員コメント

まず、とても純粋で綺麗な表現であると感じました。背景や手のイラストに表現された描写から建築現場で奮闘する職人さんたちが想像出来ます。建築を作ることでは一人では出来ず、たくさんの人と関係性を構築することから始まります。その点が甘くいけばとても良い結果になります。そんな生き生きとした人間の営みが感じられる素敵な作品です。



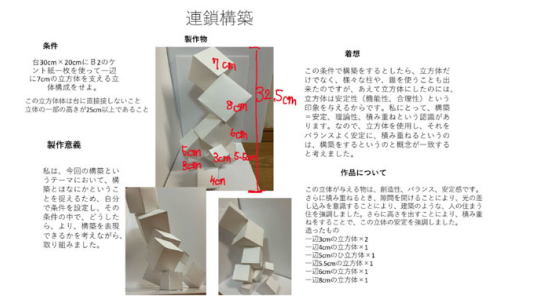
■審査員コメント

「正五角形」という抽象的な形から、自然界の具体的なモチーフへ視線を広げていく発想がとても魅力的です。色分けされたユニットが立体的に組み上がることで、数学的な規則性と自然が生み出す多様さが同時に感じられます。丁寧な文章の解説も、見る人の想像力をやさしく導き、「これは何だろう？」と考える楽しさを構築しています。造形・配色・言葉が三つ組みになった、知的で伸びやかな作品だと感じました。



■審査員コメント

とても良いタイトルですね。建築に限らず、すべてのデザインは「ひと」のためにあるものだと思います。まず個人があり、それが他者と繋がり、そして「社会」や「環境」へと広がり「まち」をつくる。そんな理想を持った若い人たちがいればきっとより良い未来が出来上がっていくことでしょう。とても良い趣旨ですので、もう少し踏み込んで、さらに具体的な空間が見えるような表現でも良かったかもしれません。



■審査員コメント

本作品は「物の形の構築」をテーマに、作者自身が条件を設定し思考を重ねることで答えを導き出すとした点に特徴がある。作者は創造性、バランス、安定感を表現したと述べているが、鑑賞者の視点からは、むしろ正方体を積層することで立体的には安定している形態を意図的に組み替え、不安定さの中に創造性とバランス性を見出している点が興味深い。特に空間の隙間に差し込む光との関係性に注目し、形態と環境を結びつけて考察した点は高く評価できる。構築的思考と造形的探究が融合した成果として位置づけられる。



■審査員コメント

構築という言葉は素直にまとめた短時間の動画です。ペンを井桁状に組み上げていくだけでなく、色ペンにより多様な個性により人の積み重ねを表現しています。また、背景に雲が動く様子を使ったのも意図がありきちんとデザインされていると思いました。言語を用いない意図伝達がアートの役割でもあるので、文字を使わずに表現できたらもっと良かったです（本作品は文字がなくても十分に伝わっています！）。それと中学生の応募はこちらも勇気をもらえます。このようなコンペティションには今後も挑戦し続けてほしいです！